

asbc.es 利用マニュアル

バージョン 1.0

1. はじめに。 asbc.es 対象と目的。
2. 登録とログイン。メールアドレスおよびソーシャルネットワークによる登録、アカウントの認証、パスワードなしのログイン、パスワードの変更。
3. 教師のダッシュボード。概要とナビゲーション。
4. 学校とグループ。コードで学校に参加するか新規作成する方法、クラスグループの管理。
5. 生徒。生徒の追加、未成年の匿名化(姓のイニシャル)、写真とアバター。
6. テストと項目。テストの作成、教科の選択と追加、項目の種類（選択肢、文章、対応づけ、短答、動画、ソシオグラムなど）。
7. テストの実施。テストの有効化、生徒のアクセスコード、自動採点と手動採点。
8. 結果とレポート。生徒別・グループ別の結果、PDFエクスポート。
9. ソシオグラム。生成方法、ソシオメトリー指標と解釈。
10. 学習習慣。CHEE-49 質問紙:学校段階、管理、割り当てと結果、クラスと個人のレポート、解釈。
11. 内部メッセージ。受信トレイとメッセージ送信。
12. プランと請求。無料プラン、有料プランと請求書。
13. ゴミ箱とアカウントの解約。項目・テスト・生徒・割り当てのゴミ箱の仕組み、各削除が連鎖して何を消すか、そして教師アカウントの解約について。
14. プロフィールとセキュリティ。個人情報、パスワード、アカウント解約。
15. 言語。言語の選び方、切り替えたときに何が変わるか、そして生徒がテストを受ける言語について。
16. サポート。お問い合わせ方法とよくある質問。

1. はじめに

ASBC.esは、教師が生徒に素早く簡単にテストを実施できるオンラインツールです。

その中には、ソシオグラムテストのように教育機関での利用のために標準化されたものもあります。一方、サイトが提供するツールを使って教師が作成するものもあります。

プラットフォームは成年に達した教師および教育関係者を対象としています。1つのアカウントで、学校とクラスグループを管理し、生徒を追加し、テストを作成・割り当て、結果を収集・確認し、ソシオグラムを生成し、同僚と内部メッセージをやり取りし、プランと請求書を管理できます。このマニュアルの各章でこれらの領域をそれぞれ説明します。

未成年の生徒を保護するため、生徒の名前は常に匿名化されます。姓のイニシャルのみが表示・保存されます。

生徒はアカウント不要です。テストを受けるには、トップページで教師から渡されたアクセスコードを入力するだけです。

2. 登録とアクセス

メールアドレスでアカウントを作成する

進む [新規登録](#) に進んでフォームを入力してください:

- フルネーム、メールアドレス、ユーザー名(英数字5~10文字)、パスワード(6文字以上、2回入力)。
。
- 学校は2通りの方法で登録できます:既存の学校に参加するには学校コードを入力(どの学校に参加するかがフォームに表示されます)、または学校情報を入力して新規作成します(名前と都市は必須)。
。
- 利用規約に同意するには、チェックボックスにチェックを入れてください。

フォームでは必須項目のみを入力します。電話番号や学校のその他の情報(CIF番号、住所、郵便番号、電話番号、メールアドレス)は、後からプロフィールで入力できます(第14章参照)。

セキュリティのため、同じ接続から複数回試みると小さなキャプチャが表示され、試行回数が多すぎると新しい試みが一時的にブロックされます。

アカウントの確認

フォームを送信するとアカウントが作成され、確認メールが送信されます。メールを開いてリンクをクリックし、アカウントを確認・有効化してください。確認が完了するまでは、ログイン時に承認待ちと

表示されます。

メールが届かない場合は、管理者がアカウントを有効化できます。その際はこちらにご連絡ください:
info@asbc.es.

ソーシャルネットワークで登録する

登録・ログインページに利用可能なプロバイダーのボタンが表示されます(例:Google、Microsoft、Facebook、GitHub、LinkedIn等、有効になっているものにより異なります)。同意を承認した後、プロバイダーを選択してサインインしてください。メールアドレスと氏名はそのプロバイダーから取得され、残りの情報(氏名と学校。学校はコードで参加するか新規作成します。その他の情報は後からプロフィールで入力できます)を入力します。メールアドレスはプロバイダーのものとなり変更できません。ユーザー名はそのメールアドレスから自動的に作成されます。この方法で作成されたアカウントはすぐに有効化され、独自のパスワードは不要です。

ログインする

進む ログイン

にアクセスし、ユーザー名(ソーシャルアカウントの場合はメールアドレス)とパスワードを入力してください。登録時と同様に、数回失敗するとキャプチャが表示され、さらに失敗が続くとアクセスが一時的にブロックされます。

既にアカウントをお持ちの場合は、ログインページでプロバイダーを選択するだけでパスワード不要でログインできます。

パスワードの変更

パスワードはいつでもプロフィールから変更できます(第14章参照)。まだパスワードを設定していないソーシャルアカウントも、そこで設定できます。パスワードを忘れた場合は、第16章の回復手順をご参照ください。

3. 教師のダッシュボード

ログイン後はダッシュボードに移動します。ここがすべてのツールへのハブとなります。ダッシュボードメニューは、あなたの権限に応じて(例:授業と管理など)エリア別にオプションをまとめています。

すべてのページの上部にヘッダーバーがあり、あなたの学校、有効なグループ、名前が表示されます。上部メニューからプロフィール、メッセージ、請求へのクイックアクセスおよびログアウトも行えます。

有効なグループ

ほとんどの作業(生徒、テストの割り当て、レポート)は1つの有効なグループを対象に行います。ヘッダーのグループ選択でグループを切り替えると、選択したグループのデータが表示されます。まだグループがない場合は、ヘッダーにグループの作成・管理へのリンクが表示されます。

4. 学校とグループ

登録時に既存の学校にコードで参加するか、新規作成するかを選びます(第2章参照)。学校の詳細情報はプロフィールで入力・更新できます。この情報はその学校のすべての教員で共有されるため、誰かが変更すると全員に反映されます。

クラスグループ

グループはクラスで、共に活動する生徒の集まりです。グループはグループページから管理でき、グループを作成したり所有するグループを編集・削除したりできます。

- グループを作成するには、名前と通常のクラス情報を入力してください。すぐに有効なグループのセレクトターで利用できるようになります。
- 各グループには固有のグループコードがあります。このコードを同じ学校の同僚と共有すると、同僚も同じグループに参加できます。また、グループ作成時にコードを入力することで同僚が共有したグループに参加できます。
- グループの削除は、例えば保持が必要な結果に紐付いていない場合など、安全な場合のみ可能です。

5. 生徒

生徒の追加と管理は 生徒

ページから行います。一覧には常に有効なグループの生徒が表示されるため、先に正しいグループを選択してください。

生徒を追加する

各生徒について、名前・姓、および性別、年齢、メールアドレス、電話番号、未成年かどうかなどを入力します。

子供を保護するため、未成年の生徒の姓は匿名化されます。一覧、レポート、ソシオグラムにはイニシャルのみが保持・表示されます。

写真とアバター

各生徒の写真をアップロードできます。アップロードしない場合、プラットフォームは生徒固有のイニシャルからアバターを自動生成するため、各生徒が一目で識別できます。生徒を編集する際にアバターを再生成することもできます。

6. テストと項目

テストは項目(設問)から構成される問題集です。テストは自分のテスト ページから管理します。

テストを作成する

テストに名前と簡単な説明を付け、学年、レベル、教科を選択してください。項目や選択肢の順序をランダム化したり、採点基準を表示したりするオプションも設定できます。公開範囲では、あなたのテストを他に誰が再利用できるかを指定します:学校内のみ、またはプラットフォーム全体。

テストを作成するためにグループは不要です。グループは割り当て時に初めて関係します(第7章参照)。

テスト全体に設定できるオプションは以下の通りです:

- 項目の順序をランダム化。有効にすると、各生徒が異なるランダムな順序で項目を受け取ります。隣同士の生徒間でのカンニングを防ぎ、回答が固定された位置に依存しないようにするため、一度作成したテストがグループ全体で公平に機能します。
- 選択肢の順序をランダム化。有効にすると、選択型の項目(選択問題、ドロップダウン、画像選択)内の選択肢が生徒ごとに異なる順序で表示されます。そのため正解が常に同じ位置にはなく、位置による推測や偶発的なカンニングが減ります。
- 採点基準を表示。有効にすると、各項目に入力した採点基準がテスト終了後の復習モードで生徒に表示されます。得点だけでなく各回答がどのように評価されたかを読めるため、テストが学習ツールになります。

- 公開範囲。他の誰がテストを再利用できるかを決定します。自分の学校内にとどめるか、プラットフォーム全体に共有して他の教師がコピー・カスタマイズできるようにするかを選べます。どの生徒がテストを受けるかには影響しません。それは割り当て時に決定します。

テストの教科

表示される教科の一覧は、あなたの学校がある国のものです。教育段階ごとにまとめられ、あなたがプラットフォームで使っている言語で書かれています。テストを書く言語とは関係ありません。スペインの学校で英語の授業のために英語のテストを作る場合でも、必要なのはスペインの教科であり、一覧が示すのはまさにそれです。

テストの教育段階を選ぶと、一覧はその段階の教科と、どの段階にも当てはまる教科だけに絞り込まれます。

一覧にない教科を追加する

担当している教科が見当たらない場合は、一覧のいちばん下の「新しい教科を登録する…」を選び、名称を入力してください。教育段階は尋ねられません。テストに選んだ段階がそのまま使われます。入力中によく似た教科がすでにある場合は警告が出るので、同じ教科が別の表記で二重に登録されることを防げます。

追加した教科は、あなたと同じ学校のほかの先生にすぐに使えるようになり、ほかに何も保存しなくてもそのテストで使えます。追加できるのは1日あたり20件までです。

テストを作成するには学校の登録が必要です。表示される教科はその国によって決まるためです。まだ登録していない場合は、先にプロフィール画面へ案内されます。

自校が追加した教科

教科の一覧のすぐ下にある「自校が追加した教科」のリンクを開くと、

自校が追加したすべての教科の一覧 それぞれがどうなったかを確認できます：

- 自校で利用可能。あなたと同僚だけに表示されます。どのテストも使っていないあいだは削除できます。誤って追加した場合や入力ミスがある場合に便利です。
- カタログで利用可能。あなたの国の教科一覧に加わったため、その国のどの先生も使えます。

- 別の教科に統合。すでにあった教科と同じものだったため、使用していたテストはその教科を使うようになります。統合先の名称が表示されます。
- 取り下げ。今後は表示されません。理由が横に示されます。

自分のテストの教科が取り下げられても、そのテストは教科を保持したまま通常どおり動作します。編集画面に理由つきの案内が表示されるので、都合のよいときに別の教科を選んでください。

問題の形式

テストには異なる種類の項目を追加します。ほとんどはプラットフォームが自動採点し、一部は教師が採点するか、情報提供のみのものです。利用可能な種類はすべて以下の通りです：

選択問題

生徒は設問文を読み、2～5個のテキスト選択肢の中から1つを選択します。各選択肢を入力してそのうちの1つを正解としてマークし、プラットフォームが生徒の選択と正解を比較して自動採点します。唯一の正解が明確な知識確認に最も適したクローズドクエスチョンの形式です。選択肢の上に任意で画像を追加できます。

ドロップダウン選択

選択問題と同じロジック(2～5選択肢、正解は1つ)のクローズドクエスチョンですが、回答はボタンの列ではなくドロップダウンリストとして表示されます。コンパクトな表示は長い選択肢テキストや、生徒がリストを開くまで選択肢を見せたくない演習に適しています。採点は自動で、生徒の選択と設定した正解を照合します。

画像付き選択問題

生徒は設問文と短い指示が表示された後、テキスト選択肢ではなく2～5枚の画像の中から正解を選択します。選択肢ごとに画像をアップロードして正解をマークし、設問文用の全体画像も追加できます。プラットフォームが自動採点します。形、地図、図表、芸術作品など言葉で説明するよりも目で識別しやすい視覚的な回答に最適な形式です。

画像とテキストの組み合わせ

項目には設問文に属する1枚の画像が表示され、生徒は2～5個の記述選択肢の中からその画像を正しく説明・対応するテキストを選択します。項目の画像をアップロードし、選択肢を入力して正解をマークし

ます。採点は自動です。写真、グラフ、イラストなど単一の視覚要素を解釈させ、それに合う記述を識別させる、画像読解とテキスト理解を1問に組み合わせた演習に使用してください。

穴埋め問題

文章または短いパラグラフを入力し、各正解を波かっこで囲みます。例:「フランスの首都は{パリ}です。」生徒が抜けた単語を入力すると、プラットフォームがあなたの入力と自動照合します。比較で大文字小文字を区別するか、アクセント記号を厳密に一致させるかを2つのスイッチで設定でき、演習に必要な厳密さを自由に調整できます。同一文中に複数の空欄を組み合わせることも可能です。

組み合わせ問題

生徒は2列の要素を正しいペアに対応させます。左右にテキストを持つペアを最大5組定義できます。A・Bは必須、C・D・Eは任意ですが、開始した各ペアは両側を入力する必要があります。テスト中、要素はシャッフルされて表示され、生徒は元の対応を再構築します。プラットフォームは再構成されたペアと定義したペアを比較して自動採点します。

記述式

生徒は自由記述式の回答を記入するため、閉じた選択肢に還元できない説明、短い作文、推論に適した種類です。プラットフォームは自動採点できないため、結果画面から教師が採点します。採点中に表示される参考解答を保存でき、全生徒に同じ基準を適用しやすくなり、確認作業が速くなります。得点を付与すると得点に反映されます。

説明のみ(情報提供)

この情報提供用の項目は設問文と任意の画像のみを表示し、生徒からの回答は求めません。セクションの導入、指示の提供、設問グループ前のコンテキスト提供、または読解文の表示に使用します。実際には設問ではないため、デフォルトの配点はゼロで得点には影響しませんが、他の項目と同様にテストの流れの中で生徒に表示されます。

YouTube動画

この情報提供用の項目はテスト内にYouTube動画を埋め込みます。動画の完全なURLまたは11文字の識別子を貼り付けると、プラットフォームが正規化して生徒にプレーヤーを表示します。回答は求めないため、デフォルトの配点はゼロで得点には加算されません。後続の項目に回答する前に生徒に視聴させたいクリップを提示したり、問題集自体の中に説明や刺激素材を提供したりするのに便利です。

ソシオグラム設問

この特殊な項目は、ソシオメトリー基準に従ってクラスメートを選択するよう生徒に求めます:一緒にいたい相手(選択)、避けたい相手(拒否)、自分を選んだり拒否したりすると思う相手(知覚)。選択肢はグループのメンバーであり、テスト実施時に自動生成されます。回答は得点化されず、第9章で説明するソシオグラムとソシオメトリーレポートにデータとして提供され、クラスの関係構造を明らかにします。

すべての項目に共通するフィールド

種類に関わらず、すべての項目は同じ共通フィールドを共有しています:

設問文

設問の文章、または情報提供用の項目に表示されるテキストです。必須で最低10文字必要です。生徒が最初に読むものなので、何を尋ねているか、何を表示しているかを明確に示す必要があります。

採点基準

教師として項目を評価する際に適用する採点基準:正解または許容される回答を定義するルールや簡単なルーブリックです。任意ですが、採点の一貫性を保つために記述式回答で特に便利です。テストで採点基準を表示する設定にしている場合、生徒は終了後の復習モードで確認できます。

画像

項目に関連付けられた任意の画像で、設問文とともに生徒に表示されます。画像なしの場合は空欄のままにしてください。既存の項目を編集する場合、空欄のままにすると現在の画像が保持されます。対応フォーマットはJPEG、PNG、WebP、GIFです。

配点

0~100の数値で、この項目が他の項目と比較してテストの得点にどれだけ貢献するかを設定します。数値が高いほど項目の重みが増し、ゼロは得点への影響がないことを意味します。新しい項目は情報提供用タイプはゼロ、それ以外は1というデフォルト値から始まり、必須と考える項目により重みを置くために自由に変更できます。

得点に反映する

配点とは独立したYes/Noの選択で、項目が最終的な評点に参加するかどうかを決定します。Noに設定すると、項目は引き続き生徒に表示され、タイプが許せば自動採点もされますが、取得点数にも最大点数にも加算されないため、評点に影響しない練習または情報提供材料として機能します。

既存のテストを再利用する

最初から作る必要はありません。システムカタログの標準化されたテストや同僚が共有したテストを自分のテストにコピーし、自由にカスタマイズできます。削除したテストや項目はゴミ箱に移動され、完全に削除される前であれば復元できます。

問題バンク

テスト全体をコピーするだけでなく、本プラットフォームには問題バンクがあります。これは、あなたと同僚が作り上げ、さまざまなテストで再利用できる多肢選択式問題（文字の選択肢または画像の選択肢）の共有ストアです。あなたの学校の教員全員が同じ学校バンクを共有し、さらに管理者が用意したシステムバンクがあり、プラットフォームのすべての教員が利用できます。

バンク内の各問題は、後で見つけやすいように分類されます。テーマ別ブロック（自分で名前を付けるトピック）、学年、レベル、教科、そして記述されている言語です。保存できるのは選択肢のある閉じた問題だけです。すなわち、文字による多肢選択と画像による多肢選択です。自由記述、動画、ソシオグラムの問題は追加できません。

問題をバンクに追加するには、いつもどおり多肢選択式の問題を作成または編集し、同じフォームでバンクの分類を入力します。プラットフォームは問題の独立したコピーを保存するため、テスト内の元の問題を編集または削除しても、バンク内のコピーが変わることはなく、その逆も同様です。

問題を再利用するには、作成中のテストの問題一覧から問題バンクを開きます。フィルター（テーマ別ブロック、教科、学年、レベル、キーワード、言語）で一覧を絞り込み、任意の問題をプレビューして、ワンクリックでそのコピーをテストに追加します。このコピーも独立しているため、バンクに影響を与えずにテスト内で調整できます。

問題は削除されるまでバンクに残ります。自分で提供した問題は自分で削除できます。管理者はどの問題でも削除でき、プラットフォーム全体で共有されるシステムバンクを管理します。

7. テストの実施

テストを割り当てる

生徒がテストを受けるには、まず割り当てを行います。有効なグループ全体または特定の生徒1人に割り当てることができます。各割り当ては結果にカードとして表示され、独自のライフサイクルを持ちます：終了、再開、アーカイブ、削除が可能です。

ダッシュボードの各セクションには、そのセクションのものを割り当てて追跡するための専用の画面があります。テストはテストと項目から割り当て、各ツールはそれぞれのセクションから割り当てます。各画面にはそのセクションのものだけが表示されるため、ツールを割り当てる画面にテストが表示されることはなく、その逆もありません。

生徒のアクセスコード

- グループに割り当てると、1つのグループコードが発行されます。クラスに渡し、各生徒がテストページでコードを入力し、一覧から自分の名前を選択します。
- 個別の生徒に割り当てると、その生徒専用のコードが発行され、生徒はそれを直接使用します。
- 個別の生徒への割り当て画面で全員に割り当てを使うと、まだコードを持っていないグループの生徒全員が一度に自分のコードを受け取ります。すでに持っている生徒はそのコードのままです。

生徒はアカウント不要です。コードだけあれば、どのデバイスからでもテストを受けられます。

生徒がテストを受ける手順

コードを入力(グループの場合は名前も選択して確認)した後、生徒は規約に同意し、項目に1つずつ回答し、前後に移動しながら最後まで進みます。

採点

選択型の項目(選択問題、ドロップダウン、組み合わせなど)は自動採点されます。記述式回答は教師が採点します:割り当てカードから手動採点を開き、各回答を確認して正解・不正解を判定します。

8. 結果とレポート

ダッシュボードの各セクションには専用の結果ページがあります。そのセクションの割り当てが1行ずつ一覧表示されるため、各グループの状況がひと目でわかります。

各行には、課題の状態、終了した生徒の人数、採点待ちの回答数、グループの平均が表示されます。結果を表示をクリックすると詳細が開き、生徒ごとの成績とボタンが並ぶ表が表示されます。課題に対するその他の操作は、行末のメニューにまとめられています。

成績を出さないツールのセクションでは、行に成績の列はなく、詳細には生徒ごとの状態とボタンが表示されますが、成績も PDF もありません。読むのはそのツールのレポートで、その読み方はツール自身の章で説明しています。

課題でできること

- 各生徒の回答と得点、グループの概要を確認する。
- 記述式回答を採点する(手動採点)。
- 結果をCSVでエクスポートする、または生徒別レポートをPDFでダウンロードする。
- 再テストが必要な場合に1人または全員の結果をリセットする。
- 割り当てを終了、再開、アーカイブ、削除する。

各生徒のボタン

課題の詳細では、各生徒の行に状態（未開始・進行中・終了）が表示されます。PDF はその場にあり、その他のボタンは行末のメニューにあります。

- リセット(終了したテスト): その生徒の回答を削除して未開始に戻し、同じコードで最初からやり直せるようにします。すでにカウントされた完了は統計と請求のために保持されます。
- 再開(終了したテスト): すべての回答を保持したままテストを実施中に戻します。生徒は同じコードで再度入り、中断したところから続けられます。
- PDF: その生徒の採点済みレポートをダウンロードします。生徒が終了時にダウンロードできるものと同一です。
- この生徒の割り当てを今すぐ削除: その割り当てにおける生徒の解答と登録を削除します。アクセスコードは使えなくなり、生徒はカードから消えます。ゴミ箱を経由せず、直ちに反映されます。リセットとは違い何も残りません。あとで新しいコードで再度テストを割り当てられます。生徒ページからゴミ箱へ移せるようにするのも、この操作です。

割り当てのゴミ箱

グループの割り当てをゴミ箱へ移動しても、すぐには削除されません。結果ページのゴミ箱に移ります。そこにある間は復元でき、割り当てとその結果を元のまま取り戻せます。

そのため、割り当てがゴミ箱にある間は生徒の登録も残ります。登録を一度に削除してしまうと、復元しても空のカードが戻るだけです。実際の影響として、その生徒やそのグループをゴミ箱へ移すことはできません。割り当てが完全に削除されるまでです。今すぐ生徒を外す必要がある場合は、その生徒の行にあるこの生徒の割り当てを今すぐ削除を使ってください。

一定期間ゴミ箱に残った割り当ては完全に削除されます。その際、削除されるのはそのテストにおける対象生徒の結果のみ(回答とその割り当てのアクセスコード)です。生徒もテストも削除されません:アカウントに残り、いつでも再度割り当てることができます。

9. ソシオグラム

ソシオグラムはグループ内の関係を研究するものです。各生徒が特定の状況で一緒にいたいクラスメートと拒否したいクラスメートを非公開で示す標準化された質問票から構築されます。自分を選んだり拒否したりすると思う相手を回答することもできます。

ソシオグラムを生成する

メニューのソシオグラム生成機能から、グループのソシオグラムを生成します。割り当ては、ソシオグラムだけを表示するメニューのソシオグラムセクションから行い、他のテストと同様に実施します(第7章参照)。最初の生徒が開始した時点でグループが確定し、分析の一貫性が保たれます。

ソシオグラムを生成するたびに、プラットフォームはシステムのソシオグラムテストの新しいコピー(クローン)を作成し、日時が名前に付与されます。そのコピーはソシオグラムの管理と、グループ全体や個々の生徒にソシオグラムを割り当てる画面に表示されます。年間を通じて複数の実施を作成でき、それぞれが独立して独自の回答を収集します。

各実施の回答はソシオグラムの結果にあり、そこからレポートを開きます。個々の生徒へのソシオグラムの割り当ては、実施中の回を欠席した生徒を加えるためだけのものです。ソシオグラムはグループ全体を測定するため、その生徒は同じ割り当てに加わり、レポートは回答した生徒をもとに計算されます。

ソシオグラムが始まった後にグループに加わった生徒は、その名簿に含まれません。グループコードでも個別の割り当てでも回答できません。含めるには、結果画面で全員をリセットしてください。最初の生徒が始めた時点で、グループ全員で名簿が再び確定します。

割り当てごとに、グループごと・回ごとの名簿があります。同じ実施を別のグループに割り当てたり、同じグループに新しい回として再び割り当てたりすると、その名簿は、最初の生徒が始めた時点のそのグループの生徒で確定します。

ソシオグラムを終えた生徒に対して、再開はできません。回答済みの質問に戻れないためです。もう一度行う必要がある場合は、結果画面でリセットしてください。

生徒が途中で抜け、自分のコードで再び入ると、中断したところから続きます。すでに回答したものが再び表示されることはなく、ブロックの途中で中断していた場合は、先にそのブロックの教示画面をもう一度見ます。

誤って実施を作成した場合、どの生徒もまだ開始していない限り、グループや生徒に既に割り当てていても、ソシオグラムの管理またはグループ全体への割り当て画面からゴミ箱に移動できます。ソシオグラムのゴミ箱からは、完全に削除されるまで復元できます。ソシオグラムに関するその他の操作は、生成機能とレポートから行います。

ソシオメトリック基準

アプリケーションを作成するときに基準を選びます。各生徒がクラスメートを選んだり拒否したりする文脈です。生徒が答える質問とレポートは、選んだ基準に合わせて変わります。

- 作業グループ（機能的基準）：認識された能力、責任感、知性、効率を測ります。生徒は、特に好きではなくても、きちんとしていて成績が良いという理由でクラスメートを選ぶことがあります。職場など大人の環境に有用です。
- 遊びグループ（遊戯的基準）：楽しさ、エネルギー、機敏さ、余暇での相性を測ります。同じ遊びの興味や運動のダイナミクスを共有する人を選びます。幼児教育や小学校の環境に有用です。
- 友だちグループ（情緒的基準）：好意、信頼、愛情、親密さを測ります。仕事や遊びが得意かどうかに関係なく、深い感情的なつながりのある人を選びます。中等教育など、より年長の学齢に有用です。

レポートを読む

回答が届くと、レポートには以下が表示されます:

- グラフィカルなソシオグラム:誰が誰を選び、誰を拒否しているかを相互関係も含めて示す図。
- グループおよび各生徒のソシオメトリ指標:受けた・与えた選択と拒否、相互性、各生徒の位置づけや社会的地位。
- 各生徒の個別レポート。

レポートはいつでも再生成できます。未成年の生徒の姓はすべての場所でイニシャルのみで表示されることを覚えておいてください。

10. 学習習慣

学習習慣質問紙 CHEE-49 は、生徒がどのように学習しているかを知るためのものです。どう計画するか、時間をどう管理するか、どこで学習するか、どんな方法を使うか、何が学習の原動力になっているか、試験にどう備えるか、自分のやり方を修正できるかがわかります。学習のしかたに関する 49 の文から成り、生徒は一つひとつに まったくない から いつも までの 5 段階の頻度尺度で答えます。

これは試験ではありません。正しい答えも間違った答えもなく、点数は出ません。得られるのはクラスのレポートと生徒一人ひとりのレポートで、次元別のプロフィールと改善のための具体的な助言が示されます。学級活動や、本人・保護者との面談の準備に使うことを想定しています。

CHEE-49 は教育用の自己報告式質問紙であり、臨床的な診断ではありません。本人がふだんしていると答えた内容を記述するものです。

何を測るか

49 の文は7つの次元に7問ずつ分かれています。どの次元も総合指標に同じ重みで入るため、プロフィールの棒グラフはそのまま互いに比較できます。

次元	内容
学習の計画	何を、どの順で、どれだけ前もって学習するかを決めること：手帳の活用、範囲の数日への配分、各課題に必要な時間の見積もり。

次元	内容
時間の管理	学習時間の規則性と実際の活用：安定した習慣、先延ばしのない着手、計画された休憩、週ごとの復習、先送りへの抵抗。
学習の場所と環境	学習する場所の条件：決まった片づいた場所、あらかじめ用意した教材、そしてとりわけデジタルな妨害への対処。
学習方法	実際にどう学ぶか：読む前に全体を見渡す、要点を選ぶ、自分の言葉で書き直す、見ないで思い出して確認する——これに対して、繰り返し読むことと丸暗記は、効果が最も低いと示されている方法です。
動機づけと態度	なぜ、どれだけ粘り強く学ぶか：合格を超えた理解への志向、自分の目標、困難に直面したときの粘り、自分の努力への信頼、結果を何に帰属させるか。
試験の準備	試験の準備と対処：前もって始めること、事前の自己テスト、形式の把握、試験中の時間配分、提出前の見直し、不安への対処。
自己調整	自分の学習を導く力：理解できているかに気づく、助けを求める、各回の目標を確認する、うまくいかないときに方法を変える、返却された答案の誤りから学ぶ。

設計上、知っておきたい点が二つあります。

- 14 の文は逆向きに書かれており(例:「その日に何をするか決めないまま勉強を始める。」)、得点を逆転して計算します。これにより、同じ列ばかりに印を付けた生徒が、読まずに好ましいプロフィールを得ることを防ぎます。
- 文は次元ごとにまとめられていません。各次元から 1 問ずつ順番に交互に出題され、まとめて同じように答えてしまうことを防いでいます。

3つの学校段階

質問紙には学校段階ごとに 3 つの版があります。49 の文、次元、採点方法は同じで、回答者の年齢に合わせて表現だけが変わります。そのため、版が違ってても得点を比較できます。

学校段階	対象	回答の尺度
------	----	-------

小学校	短い文と学校の語彙（「宿題」「単元」）を用いた版。小学4～6年生向けで、4年生では学級全体で音読しながら実施するとよい。9歳未満では自己報告の信頼性が下がるため、実施はおすすめられません。	まったくない,ほとんどない,ときどき,たいてい,いつも
中学・高校	基準となる版で、中学校・高等学校向け。教科、範囲、提出期限について問い、生徒が授業外で学習を自分で組み立てることを前提としています。	まったくない,まれに,ときどき,よくある,いつも
大学	高等教育の語彙による版：自主学習、学期、オフィスアワー、参考文献、試験期間など。大学および高等専門教育向け。	まったくない,まれに,ときどき,よくある,いつも

学校段階は実施を作成するときに選び、あとから変更することはできません。初期設定で選択されているのは 中学・高校 です。間違えた場合は、正しい学校段階で新しい実施を作成してください(まだ誰も開始していなければ、もう一方はゴミ箱に移せます)。

メニューのどこにあるか

ダッシュボードのメニューにある 学習習慣 セクションには、質問紙に関するものがすべて、そして質問紙に関するものだけがまとまっています。どの画面にも、あなたのテストや他の評価ツールは表示されません(それぞれに専用のセクションがあります)。使う順に、次の六つの項目があります。

- 学習習慣質問紙を作成:新しい実施を作成します。
- 学習習慣質問紙の管理:作成した実施の一覧と、それぞれに対してできる操作です。
- グループ全体に学習習慣質問紙を割り当て:一つのグループコードでクラス全体に割り当てます。
- 個々の生徒に学習習慣質問紙を割り当て:特定の生徒に、それぞれ専用のコードで割り当てます。

- 学習習慣質問紙の結果:各割り当ての進み具合の確認です。誰が終えたか、終了、アーカイブ、生徒のリセットなど。
- 学習習慣レポート:クラスのレポートと生徒ごとのレポートです。

このセクションが表示されない場合は、ご利用の学校では質問紙が利用できません。項目に鍵のマークと…プランで利用できますという表示が付いている場合は、質問紙はご利用のプランより上位のプランに含まれています(第12章参照)。

実施を作成する

1. 学習習慣質問紙を作成 を開きます。
2. ドロップダウンから 学校段階 を選びます。その下には、各段階の説明付きのヘルプ どの学校段階を選べばよいですか。 が常に表示されています。
3. 新しい実施を作成 をクリックします。

プラットフォームは、その段階のシステムテンプレートのコピー(複製)を作成します。49 の文はすでに作成・翻訳済みで、名前には日付と時刻が入ります。例:学習習慣質問紙 CHEE-49 (中学・高校) — 2026/10/03

10:15. 続いて グループ全体に学習習慣質問紙を割り当て に直接移動し、新しい実施がすぐに割り当てられる状態で表示されます。

次の点に注意してください。

- それぞれの実施は独立しています。回答も実施日も別々です。学年の途中で複数作成でき(たとえば10月に一つ、5月にもう一つ)、二つ目が一つ目を上書きすることはありません。
- 文の編集や並べ替えはできません。質問紙は測定のための道具であり、文言と順序もその一部だからです。
- 誤って実施を作成した場合は、まだどの生徒も開始していないあいだであれば、すでに割り当てられていても、学習習慣質問紙の管理 または グループ全体に学習習慣質問紙を割り当て から ゴミ箱に移動でゴミ箱に移せます。完全に削除されるまでは、この二つの画面から開ける 質問紙のゴミ箱 から復元できます(第13章参照)。このゴミ箱に入るのは学習習慣質問紙だけで、テストや他の評価ツールにはそれぞれのゴミ箱があります。

実施を管理する

学習習慣質問紙の管理には、作成したすべての実施が、名前による検索欄とともに一覧表示されます。各実施について、名前(学校段階と作成日を含む)、割り当て先のグループ、そして状態(未割り当て、割り当て済み、回答あり)がわかります。各行から次の操作ができます。

- 割り当て画面で探さなくても、グループに割り当て または 生徒に割り当て で割り当てる。
- 割り当て後は、結果を表示 でその割り当てを開く。
- まだどの生徒も開始していなければ、ゴミ箱に移動 でゴミ箱に移す。

画面上部には、作成画面に移動する 学習習慣質問紙を作成する ボタンと、質問紙のゴミ箱 への入口もあります。

授業で実施する

実施は他のテストと同じように行います(第7

章参照)が、割り当ては専用のセクションから、次のどちらかの方法で行います。

- グループ全体に学習習慣質問紙を割り当て では、実施を選んで 割り当て をクリックすると、その時点の生徒とともに有効なグループに割り当てられます。グループコードを受け取り、それをクラスに伝えます。生徒はコードを入力し、一覧から自分の名前を選んで回答します。
- 個々の生徒に学習習慣質問紙を割り当て では、実施を選んでから生徒を選びます。生徒はそれぞれ専用のコードを受け取り、それを直接使います(コードをダウンロード(CSV)ですべてのコードを一つのファイルで受け取れます)。たとえば、クラスで実施した日に欠席した生徒や、あとからグループに加わった生徒に便利です。その実施がすでにグループに割り当てられていれば、その生徒は同じ割り当てに加わり、回答は同じレポートに反映されます。

どちらの場合も、生徒にはアカウントもメールアドレスもパスワードも不要です。

- 最初に 2 画面の説明 が表示され、これは試験ではないこと、そして「すべきだと思うこと」ではなくふだんしていることに印を付けるよう説明されます。
- その後、49 の文に1 問ずつ答えます。最初、次へ、最後 で移動し、前の未回答 と 次の未回答 で空欄のままの文に移れます。
- 終了 で最後の画面に進みます。そこには回答した文と空欄の文の数が表示され、見直すための最初の項目に戻る があります。見直しても何も損なわれません。終了して先生に送信 をクリックす

ると、空欄の文を知らせる確認のあとで質問紙が終わります。

- 所要時間は15～20分です。授業の中で時間に余裕をもって、急がせずに実施し、回答に点数を付ける人はいないことを伝えるとよいでしょう。

言語。質問紙はプラットフォームのすべての言語に翻訳されています。生徒は、初めてグループに割り当てたときにあなたが選んでいた言語で、翻訳済みの文を見ます。生徒が言語を変えることはできません。どの言語になるかは割り当ての確認画面に表示されます。別の言語で回答させたい場合は、割り当てる前にご自身の言語を切り替えてください(第15章参照)。

月間の上限。質問紙を終えた生徒1人につき、他のテストと同じく、月間の上限で完了済みテスト1件として数えられます(第12章参照)。

結果を見る場所

割り当ての進み具合は 学習習慣質問紙の結果 で確認します。ここに表示されるのは学習習慣質問紙だけです。割り当てごとに1行あり、グループコード、状態、終えた生徒の数、割り当てた日がわかります。名前・日付・状態で絞り込むこともできます。

質問紙は点数を出さないため、点数の列はありません。各行の末尾のメニューには、クラスのレポートに直接移動する 学習習慣レポート と、割り当てに対する操作があります。閉じる(と再開)、すべてリセット、アーカイブ、グループの割り当てをゴミ箱へ移動です。すべてリセットはクラス全員の回答を削除するもので、実行前に確認を求められます。

結果を表示 で割り当ての詳細が開きます。上部に同じ 学習習慣レポート ボタンがあり、その下に生徒とその状態(未開始、実施中、終了)が並びます。各生徒の行のメニューには、その生徒だけに対してできる操作があります。

- リセット(終えている場合):回答を削除して未開始に戻し、同じコードで最初からやり直せるようにします。プロフィールを取り直す必要があるときはこれを使います(後述の妥当性の警告を参照)。
- 再開(終えている場合):回答を残したまま実施中に戻し、見直してもう一度終了できるようにします。
- この生徒の割り当てを今すぐ削除:ゴミ箱を経由せずに、回答と割り当てへの登録を一度に削除します。これにより、その生徒を生徒ページからゴミ箱に移せるようになります。

これらは他の割り当てと同じ操作です(第8

章参照)。生徒ごとの PDF はありません。生徒の回答は持ち帰る「結果」ではなく、読むべきなのはレポートのプロフィールだからです。

メニューの 学習習慣レポート には、割り当てた実施の一覧が表示されます。各実施の学校段階、グループコード、実施日(最初の生徒が開始した日時。まだなら 未開始)、状態と レポートを表示 ボタンがあります。ここから 新しい実施 を作成することもできます。

レポートは届いた回答からその場で計算されます。クラスがまだ回答している最中でも開けます。まだ誰も回答していない場合は、まだ回答がありません と表示されます。

採点のしかた

各次元は 0～100 の指標 を出し、次元の平均が 学習習慣の総合指標 になります。各指標は次の 4 つの水 準 のいずれかに入ります。

水準	指標	意味
初期	0 – 39	その習慣はまだ形成されていません。この水準では細かな改善提案は役に立ちません。明示的な支援のもとで、学習の型を一から組み立てる必要があります。
発達途上	40 – 59	その習慣は断続的にしか現れず、多くは試験の前週に限られます。具体的な計画と、数週間にわたる継続的な確認が必要です。
良好	60 – 79	その習慣は定着しており、個々の点に改善の余地があります。全面的な介入ではなく、的を絞った助言が適切です。

水準	指標	意味
定着	80 – 100	他の側面を伸ばす足がかりになります。すでにうまくできていることを、弱い次元にも生かします。

水準は到達基準に基づくものです。習慣が身についているかどうかを示すもので、クラスの中での順位を示すものではありません。

未回答の文。ある次元で未回答が1～2問なら、その指標は残りの回答から推定されます(レポートでは斜線の棒で表示)。3問以上未回答なら、その次元は値なし(「—」)になります。値なしの次元が一つだけなら、総合指標は残りの六つから計算されます。二つ以上あれば、質問紙が不完全すぎて総合指標は計算できません。

クラスのレポート

開いたときに知りたいことに、次の順で答えるように構成されています。

1. 見出し:回答した人数(と、十分に完全なプロフィールを持つ人数)、そして100点満点でのクラスの平均。
2. クラスの平均プロフィール:次元ごとに1本の棒が、低いものから高いものへ並び、水準に応じて色分けされます。土の後の数字は標準偏差で、大きいほどその次元でクラス内の差が大きいことを示します。
3. 各水準の人数:次元 × 水準の表です。問題がクラス全体のものか、一部の生徒のものかがわかります。
4. クラスが最も苦手としていること:平均が最も低い10の具体的な行動を、その次元、クラスの平均(5点満点)、それぞれに困難がある生徒の数(5点中1または2にあたる回答)とともに示します。これが学級活動の時間の自然な議題になります。ある次元の平均が42だとわかっていても何をすべきかはわかりませんが、28人中24人がある具体的な行動をまったくしていないとわかれば、すべきことが見えてきます。
5. 一人ひとり:生徒ごとに1行で、総合指標の低い順に、各次元と総合の指標を示します。各セルの色はその水準です。列は常に質問紙の順の3文字の略号を使います(マウスを重ねると正式名が表示されます)。

PLA	学習の計画
TIM	時間の管理
ENV	学習の場所と環境
TEC	学習方法
MOT	動機づけと態度
EXA	試験の準備
AUT	自己調整

名前の横には二つのアイコンが付くことがあります。赤い三角(要注意)と黄色の疑問符(このプロフィールは慎重に解釈してください。後述の妥当性の警告を参照)です。各行の レポートを表示 ボタンで個人レポートが開きます。

6. まだ回答していません:グループの生徒のうち、まだ回答していない生徒です(いる場合)。

要注意となる生徒。次の三つのいずれかに当てはまると、赤い三角が付きます。

- 総合指標が 40 未満。
- 総合指標が許容範囲に見えても、初期 の水準の次元が三つ以上ある(平均の陰に具体的な困難が隠れている生徒)。
- 質問紙が不完全すぎてプロフィールを計算できない。

生徒の個人レポート

本人や保護者との面談のための資料です。全体から具体へと進み、行動で締めくくります。

1. 妥当性の警告があれば、何よりも先に表示されます(次の節を参照)。
2. 学習習慣の総合指標(100 点満点)とその水準、回答した文の数(49 問中)。
3. 次元別のプロフィール。弱いものから強いものへ並ぶので、優先すべき点が最初の行に来ます。斜線の棒は推定値で、データの無い次元は最後に置かれます。
4. よく見ておきたい点:平均に隠れてしまいがちで、それだけで話し合う価値のあるサインです。
 - 試験への不安:学習方法では改善しません。本人と話し合い、繰り返したり影響が大きかったりする場合は、教育相談・進路指導の担当者と一緒に検討してください。

- 。デジタルな妨害:スマートフォンや通知が学習時間を奪っています。
- 。先延ばし:期限の遠いものを最後まで残し、前日に勉強しています。
- 。ばらつきの大きいプロフィール:ある面では習慣が定着し、別の面ではほとんどない状態です(最も高い次元と最も低い次元の差が 40 点以上)。

5. 各次元が示すこと:到達した水準での各次元の解釈と、初期 または 発達途上 の次元には、具体的な助言を載せた できること の枠が付きます。すでに定着している習慣には助言を付けません。すべてにコメントするレポートは読まれないからです。文章は本人や保護者に声に出して読めるよう書かれており、人柄ではなく、していることについて述べます。
6. まず変える三つのこと:本人の得点が最も低かった具体的な行動を、その次元と本人の回答とともに最大三つ示します。数えるのは 5 点中 1 または 2 にあたる回答だけです(逆向きの文では、尺度の上端の回答がこれにあたります)。そこまで低い回答が一つもない生徒には表示されません。レポートの中で最も行動に移しやすい部分です。

クラスのレポートに戻る ボタンで、クラスに戻ります。

本人と一緒に見ると決めない限り、生徒はこれらを一切見ません。レポートは面談を支えるための資料であり、渡すためのレッテルではありません。

妥当性の警告

自己報告式の質問紙は、読まずに回答することもできてしまいます。そのためレポートは三つの点を確認し、いずれかに当てはまると、個人レポートの冒頭に このプロフィールは慎重に解釈してください という警告を表示します(クラスのレポートでも、その生徒に黄色の疑問符が付きます)。

警告	表示される条件
回答が速すぎる	平均して 1 文あたり 3 秒未満:読んだとは考えにくい速さです。
一様な回答	文の 90 % 以上で同じ選択肢(回答が 10 問以上の場合)。文を区別していません。

警告	表示される条件
矛盾した回答	質問紙には反対の意味をもつ5組の文が含まれています(たとえば、何を勉強するか決めることと、何をするか決めないまま始めること)。レポートは各組の二つの回答がどれだけ離れているかを合計します(全体で0～20)。11以上で警告が表示され、7～10では控えめな注記だけが表示されます。プロフィールを退ける理由ではなく、ちょっとした留意点だからです。

どの警告もレポートを止めることはありません。プロフィールはそのまま表示されます。どう扱うかは、生徒をよく知るあなたが判断します。本人と話し合うか、必要と考えれば、もう一度回答してもらいます。学習習慣質問紙の結果の割り当ての詳細で、その生徒の行のリセットを使うと、回答が削除されて最初からやり直せます。

初回の測定と最終の測定

質問紙は、同じクラスで2回実施すると最も役に立ちます。学年の初めに1回、終わりにもう1回、その間に学級での取り組みをはさみます。

1. 10月に実施を作成して行い、レポートをもとに取り組む内容を決めます(クラスが最も苦手として
いることから始めましょう)。
2. 1年を通して、学級活動でそれらの行動に取り組めます。
3. 5月に、同じ学校段階でもう一つの実施を作成し、同じクラスで行います。
4. 二つのクラスのレポートを比べます。総合指標、平均プロフィール、要注意の生徒の数です。

それぞれの実施は自分の回答を保持するので、5月に実施しても10月の測定は失われません。計画と時間の管理は数週間で改善し、動機づけはずっとゆっくり変わるのが普通です。

プライバシーと責任ある利用

学習習慣の質問紙は、未成年の生徒がまだ誰にも話していないかもしれない情報を集めます。勉強に取り組められない、試験で頭が真っ白になる、課題が難しくなるとすぐあきらめる、といったことです。そのため、

- 生徒はアカウントもメールアドレスもパスワードもなしで回答します。
- プラットフォームのすべての場所と同じく、未成年の生徒の姓はイニシャルのみで表示されます。

- レポートはあなたのためのものです。本人や保護者には、適切と考える時期と方法で共有してください。
- 試験への不安などのサインがある場合、レポートは教育相談・進路指導の担当者による判断の代わりにはなりません。

項目および採点方法は asbc.es が CC BY-SA 4.0 のもとで公開しています。

11. 内部メッセージ

asbc.es は、プラットフォームを離れることなく、またメールアドレスを共有せずに他のユーザーとやり取りできるプライベートメッセージ機能を備えています。上部メニューのメッセージエリア(封筒アイコン)からアクセスでき、小さなバッジで未読数を確認できます。

メッセージを読む

- 受信トレイには届いたメッセージが一覧表示されます。未読のものは強調表示され、開くと自動的に既読になります。
- 送信済みには送信したメッセージのコピーが保存されます。

メッセージを送る

新規作成を開き、受信者を選択してください:

- 宛先フィールドに1人または複数のユーザー名を入力します。複数の人に同時に送るには、ユーザー名をカンマで区切ってください。
- またはアドレス帳から同僚を選択してください。あなたの学校の承認済み教師が表示されます(管理者はすべての教師を見られます)。両方の入力方法を組み合わせることもできます。
- 件名とメッセージ(最大20,000文字)を追加して送信します。

ユーザー名が存在しない場合は、どのユーザー名が無効かが表示され、メッセージは送信されません。

返信、転送、整理

- 開いたメッセージから返信(元のテキストが引用され、件名にRe:が付きます)や転送(Fwd:)ができます。

- メッセージを既読または未読にしたり、削除したり、複数選択してまとめて削除することができます。削除すると、自分のメールボックスからのみメッセージが消えます。

12. プランと請求

asbc.es は3つのプランを提供しています:Free(デフォルト、無料)、Plus、Pro。プランが上がるほど月間テスト件数の上限が増えます。各プランの月間上限と料金は請求ページに表示されます。

月間テスト件数

件数は完了したテストを数えます。つまり、あなたの割り当てのいずれかで生徒がテストを終了するたびにカウントされ、現在の月次請求期間(無料プランでは登録日を起点、有料プランでは期間開始日を起点)内のすべてのグループとテストを合算します。上限に達すると、次の期間までは新しいテストセッションの開始が一時停止されます。既に進行中のセッションは通常中断されません。

プランの確認と変更

請求ページでは、現在のプラン、月間上限と料金、請求書の履歴を確認できます。

- Freeプランの場合、有料プランへのアップグレードを申請できます。変更は当日適用され、請求書が発行されます。
- 月次または年次で請求できます。年次請求には年間割引が適用されます。
- 有料プランに移行すると、期限が来るまで別のプランに変更したり無料プランに戻したりすることはできません。
- まだ支払い待ちの変更申請は取り消すことができます。現在のプランが維持され、請求書はキャンセルされます。

請求書と税務情報

- 各請求書には状態があります — 保留中、支払済み、返金済み、キャンセル済み — PDFとしてダウンロードできます。
- 請求書に記載される請求先情報を入力できます:氏名、税務ID、住所、国。国は正しい消費税の適用に使用されます。

オンラインカード決済の実装を進めており、現在決済ページは準備中です。お支払いのご登録をご希望の場合は、info@asbc.es宛にご連絡ください。お支払いが確認され次第、プランが有効になります。

13. ゴミ箱とアカウントの解約

項目、テスト、生徒、割り当てを削除しても、すぐには消えません。ゴミ箱に移動し、しばらくの間はそこから元に戻せます。保持期間が過ぎて初めて、プラットフォームが自動的に完全に削除します。この章では、各ゴミ箱の仕組み、各削除が何を巻き添えにするか、そして教師アカウントを解約したときに何が起こるかを説明します。

安全のためのルール：結果を守る削除の仕組み

生徒の解答を誤って失わないよう、生徒の活動を含んでいるものはゴミ箱に送れないようになっています。すでに生徒が開始したテスト、すでに生徒が解答または閲覧した項目、そして何らかのテスト活動がある生徒は、いずれも保護され、削除ボタンが無効になります。割り当ては例外で、いつでもゴミ箱に送れます。なぜなら、まさに割り当てのゴミ箱を通じて、結果が制御された形で削除されるからです（下記参照）。

したがって、削除ボタンが無効になっているのは、削除すると結果が失われるからです。そのような要素を削除するには、まずそれに結びついた活動を取り除いてください。たとえば、割り当てカードから結果をリセットするか、「結果」で該当する割り当てを削除します。

テストのゴミ箱

自分のテストから、または各ツールの管理画面から、削除ボタンでテストをその領域のゴミ箱に送れます。これができるのは、まだどの生徒も開始していない場合だけです。ほかの教師があなたのテストから作成したコピーは独立しており、あなたを妨げることはありません。ゴミ箱で待機している間、テストは項目と画像を保持し、その割り当てはテストと一緒に結果画面の「ゴミ箱」に移ります。生徒はもう開始できず、レポートにも表示されなくなります。ゴミ箱から、またはそれらの割り当てのいずれかを復元してテストを復元すると、割り当ても一緒に戻り、再び有効になります。

保持期間を過ぎてもそのままにしておくと、完全に削除されます。この削除は連鎖的に行われ、テスト、その項目（画像も）、そしてそのすべての割り当てを、それに結びついた参加者や解答もろとも削除します。生徒が開始した後はテストをゴミ箱に送れないため、削除されたテストに失う結果はもともとありません。ただし、その項目は永久に失われます。

項目のゴミ箱

テストを編集している間、各項目には削除ボタンがあり、どの生徒も解答・閲覧していない限り、その項目を項目のゴミ箱に送れます。項目のゴミ箱からは、その時点で編集しているテストに項目を復元するので、復元する前に正しいテストを開いてください。保持期間が過ぎると、項目はそのすべての画像とともに完全に削除されます。

生徒のゴミ箱

生徒から、削除ボタンで生徒を生徒のゴミ箱に送れます。ただし、その生徒にテスト活動がまったくない場合に限りです。生徒はゴミ箱にある間、自分のグループとテスト履歴を保持します。生徒を復元すると、ヘッダーでアクティブになっているグループに配置されるので、先に正しいアクティブグループを選んでください。保持期間の後、生徒は写真またはアバター、およびあなたのテストとのつながりとともに完全に削除されます。

割り当てのゴミ箱（データへの影響）

結果から、カードの削除ボタンでその割り当てを同じページのゴミ箱セクションに送れます。カードの状態にかかわらず、いつでも実行できます。割り当てとその結果はゴミ箱にある間は保持され、カードを復元すると元に戻ります（復元した割り当ては、以前に終了済みやアーカイブ済みであっても、再びアクティブになります）。

保持期間が過ぎると、割り当ては自動的に完全に削除されます。これは最も影響範囲の狭い削除です。削除されるのはその生徒たちのそのテストの結果だけで、彼らの解答とその割り当てのアクセスコードです。あなたの生徒とテストは決して削除されません。アカウントに残り、いつでもそのテストを再割り当てできます。これが、結果を制御された形で整理するための想定された方法です。

復元できる期間と、消えるタイミング

各ゴミ箱には、要素ごとに削除される日時が表示されます。それまでは復元できます。この保持期間の長さは管理者が設定します（既定では約3か月）。自動クリーンアップによって要素がいったん完全に削除されると、もう復元できません。

教師アカウントの解約

アカウントはいつでも、プロフィールのアカウント解約ページからパスワードで確認して解約できます。解約は永久的で、完了するとセッションが終了します。データへの影響が大きく異なる2つの選択肢が

ら選びます。

データを学校の同僚に引き継ぐ。すべてが同僚のものになります。あなたのテスト、項目、グループ、生徒、割り当て、結果、さらにはあなた自身のゴミ箱（まだ削除待ちのものすべて）まで。選んだ同僚が新しい所有者になり、失われるものではありません。削除されるのはあなたのアカウントだけです。この選択肢には学校に少なくとも1人の別の教師が必要です。あなたが唯一の教師の場合は利用できません。

すべて削除する。これにより、あなたのテスト（画像、および連鎖してそれに結びついた結果とともに）、あなたの項目（テスト内のものとゴミ箱内のもの、画像とともに）、そしてあなたのゴミ箱すべてが完全に削除されます。あなたのグループと生徒は、あなたが学校の唯一の教師である場合にのみ削除されます。ほかに教師がいる場合、同僚が引き続き使えるよう、あなたのグループと生徒は保持され、あなたはそれらから切り離されるだけです。

どちらの選択肢を選んでも、学校そのものは決して削除されず、あなたの請求書も決して削除されません。あなたの請求履歴は、法的な理由から、アカウントから切り離されて保持されます。すべて削除するを選ぶと、あなたのテストにおける生徒全員の結果も消去される点に注意してください。それらを残したい場合、または同僚に引き継がせたい場合は、代わりに引き継ぐを選んでください。

消去の権利。すべて削除を選ぶことは、忘れられる権利を行使する方法です。あなたのアカウントと入力した個人データは、単に非表示や保管されるのではなく、プラットフォームから完全に削除されます。唯一の例外は請求書で、法律により税務上の保存期間中はアカウントとの関連を解除したうえで保存する義務があります。定期バックアップに含まれるデータの複製は、通常のサイクルでバックアップが更新されるにつれて消えていきます。

14. プロフィールとセキュリティ

開く あなたのプロフィール

にアクセスしてアカウントを確認し、情報を更新してください。フォームはいくつかのブロックに分かれています。

あなたのデータ

- アカウント(読み取り専用):あなたのユーザー名とメールアドレス。ユーザー名は変更できません。メールアドレスの変更は管理者が申請に応じて行います。

- 個人情報(編集可能):あなたのフルネームと電話番号。
- 学校(編集可):学校の詳細情報。所属するすべての教員で共有されるため、変更は全員に反映されます。学校コードは読み取り専用です。参加すべき同僚にのみ共有してください。まだどの学校にも属していない場合は、ここでコードを使って参加するか、新しい学校を作成できます。

パスワードの変更

パスワードブロックに現在のパスワードと新しいパスワードを2回入力してください(6文字以上)。セキュリティのため、現在のパスワードが間違っている場合は他の変更も保存されません。パスワードの3つの入力欄をすべて空欄にすると、パスワードは変更されず、その他の編集内容は通常通り保存されます。

ソーシャルネットワークで登録し、まだパスワードを設定していない場合は、現在のパスワードを入力せずにここで設定できます。設定後は、ユーザー名とパスワードでもログインできるようになります。

アカウントの解約

アカウントの解約は永続的なため、専用のページがあります。プロフィールから移動できます。パスワードで確認し、次の2つの選択肢のいずれかを選んでください:

- データを同僚に引き継ぐ:学校の同僚にグループ、生徒、テストを引き継ぎます。
- すべて削除:アカウントとすべてのデータが削除されます。

引き継ぎには学校の同僚を選ぶ必要があります。あなたがその学校で唯一の教師の場合、削除のみが選択肢となります。完了するとセッションが終了します。

15. 言語

プラットフォームは複数の言語で利用できます。上部バーの言語セレクターでいつでも言語を切り替えられます。これはすべてのページで表示され、ログイン前でも利用できます。変更はすぐに反映されます。

プラットフォームが言語を選ぶ仕組み

初めてアクセスしたとき、まだ何も選んでいない場合、プラットフォームはあなたの国から言語を推測しようとします(位置情報による)。推測できない場合は英語を使います。セレクターで言語を選ぶと、その選択が記憶されます。セッション中はもちろん、クッキーによって次回以降の訪問でも保持され

ます。ログインしている場合、選択はさらにあなたのアカウントにも保存されるため、どの端末でも認識され、私たちが送る自動メッセージもその言語で届きます。

言語を切り替えると何が変わるか

インターフェース全体（メニュー、ボタン、テキスト）がすぐに選んだ言語に切り替わり、あなたの設定は保存されます（セッション、クッキー、そしてログインしていればアカウントにも）。私たちが送る自動メッセージ（ようこそ、請求のお知らせ、月次レポート）もその言語で届くようになります。

言語を切り替えても変わらないものが2つあります。1つ目：すでに作成した割り当てはその言語を保持します。今後新しく作成する割り当てだけが、新しく選んだ言語を使います（下記参照）。2つ目：すでに書いた内容（あなたのテストや項目）は書いたとおりに保持され、言語を変えても書き換えられることはありません。

生徒がテストを受ける言語

テストを割り当てると（グループまたは個々の生徒に）、プラットフォームはその時点でアクティブな言語を割り当てに固定します。生徒は、ブラウザや国の言語に関係なく、またあなたが後で変更しても関係なく、その言語でテストを受け、PDFレポートもその言語で受け取ります。そのため、割り当てた直後に、その言語で書かれた案内が表示され、生徒がどの言語で見えるかを確認できます。

割り当てを押すと、割り当てを完了する前に、テストが生徒にどの言語で表示されるかを確認ウィンドウでお知らせします。

生徒は何も選ぶ必要はありません。アクセスコードを入力すると、テストは固定された言語で直接表示されます。

言語の切り替えは生徒には影響しません。生徒が端末の言語セレクターを変更しても、テスト画面とPDFレポートは割り当て時に固定された言語のまま表示されます。

表示言語とコンテンツの言語

テストには実際には2つの言語があります。1つは表示の言語です。テストを取り囲む画面(アクセス、説明、ボタン、通知)とPDFレポートで、常に割り当て時に固定された言語が使われます。もう1つはコンテンツの言語です。設問(アイテム)の文章と選択肢で、書かれたとおりに表示されます。両者は一致することも異なることもあります。プラットフォームがコンテンツを翻訳することはないため、一貫した体験のためには、コンテンツの言語(下記のラベル)が割り当てで固定する言語と一致するテストを割り当てて

ください。

生徒に特定の言語でテストを受けさせる方法

生徒に特定の言語でテストを受けさせるには、まず（上部バーのセクターで）自分の言語を彼らに使用させたい言語に切り替え、それからグループや生徒にテストを割り当てます。その言語が割り当てに固定され、以後どの生徒もその言語でテストを受けます。同じテストを異なるグループに異なる言語で使いたい場合は、各割り当ての前に自分の言語を切り替えてください。各グループはそれぞれの言語の割り当てを持ちます。

すでに作成した割り当ての言語を変更する

割り当ての言語は作成時に決まり、同じアクティブなカードに再度割り当てても変わりません（元の言語が再利用されます）。グループを別の言語に切り替えるには、新しいラウンドを始めます。現在の割り当てを（結果ページから）終了またはアーカイブし、新しいアクティブな言語でテストを割り当て直します。新しいカードが新しい言語を固定します。

何が翻訳され、何が翻訳されないか

プラットフォームのインターフェースは利用可能なすべての言語に翻訳されています。システムの標準化されたテスト（学校ソシオグラムなど）も翻訳されており、割り当ての言語で生徒に表示されます。あなたが書く内容（自分の項目の設問や選択肢）は書いたとおりに表示され、プラットフォームが自動的に翻訳することはありません。別の言語のテストが必要な場合は、その言語で項目を書いてください（既存のテストをコピーして調整できます）。

テストの言語と、言語によるテストの検索

テストを作成するとき、テストフォームのセクターでテストとその項目を書く言語を選びます。既定ではあなたの現在の言語ですが、任意のプラットフォーム言語を選ぶことも、その他の言語…を選んで一覧にない言語（たとえばバスク語、ガリシア語、ロシア語など）を入力することもできます。書いた内容は決して翻訳されないため、これは単にテストの言語を記録するラベルです。項目を追加している間、フォームはテストが定義された言語を知らせます。

そのラベルによりテストを言語で絞り込むことができます。システムのテスト一覧、およびクローンできる共有テスト（あなたの学校内または全プラットフォームで共有されたもの）の一覧では、言語フィルターが既定であなたの言語で書かれたテストを表示します。ほかの任意の言語に切り替えたり、その

他の言語…を選んでプラットフォーム外の言語を検索したり、すべての言語を選んだりできます。学校
ソシオグラムは多言語対応で、どの言語を選んでも常に表示されます。

16. サポートとよくある質問

サポートが必要な場合や問題を報告したい場合は、次の2つの方法でご連絡いただけます：

- 使用する お問い合わせフォーム

:氏名、メールアドレス、メッセージ(10～5,000文字)を入力してください。同じ接続から複数回試
みるとキャプチャが表示されます。

- または直接こちらにご連絡ください: info@asbc.es.

よくある質問

確認メールが届きません。どうすればよいですか？

迷惑メールフォルダをご確認ください。それでも届かない場合は、管理者がアカウントを有効化できま
す。お気軽にご連絡ください。

パスワードを忘れました。リセットするにはどうすればよいですか？

ログインページで「パスワードをお忘れですか？」をクリックし、登録したメールアドレスを入力してく
ださい。登録済みであれば、新しいパスワードを設定するためのリンクが送信されます。リンクは24時
間有効で、1回のみ使用できます。プライバシーのため、メールアドレスが登録済みかどうかにかかわら
ず、ページには常に同じメッセージが表示されます。

登録に使用したメールアドレスと同じメールアドレスのソーシャルネットワークでログインしてくださ
い。メールアドレスで認識され、パスワードなしでアクセスできます。ログイン後、プロフィールで新
しいパスワードを設定してください。この方法でログインしているため、古いパスワードは不要です。
アカウントにパスワードがまだない場合は、新たに作成するだけです。そのメールアドレスのソーシャ
ルネットワークが使えない場合は、お問い合わせフォームまたはサポートメールでご連絡ください。

ユーザー名やメールアドレスは変更できますか？

ユーザー名は変更できません。メールアドレスは管理者が申請に応じて変更します。お問い合わせくだ
さい。名前と電話番号はプロフィールから自分で編集できます。

Googleや他のソーシャルネットワークでログインするにはどうすればよいですか？

ログインページでプロバイダーを選択してください。既にアカウントをお持ちの場合、パスワード不要でログインできます(第2章参照)。

生徒はどのようにテストを受けますか？

生徒はアカウント不要です。トップページで教師から渡されたアクセスコードを入力するだけです(第1章参照)。

月に何件テストを実施できますか？プランを変更するにはどうすればよいですか？

プランによって異なります。月間上限、現在のプラン、請求書はすべて請求ページで確認できます(第12章参照)。

アカウントを解約するにはどうすればよいですか？

プロフィールからアカウント解約ページを開いてください。学校の同僚にデータを引き継ぐか、すべて削除するかを選べます(第14章参照)。

生徒の名前は他の人に見えますか？

いいえ。未成年の生徒の名前は常に匿名化されます。姓のイニシャルのみが表示・保存されます。